



公益社団法人日本山岳ガイド協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町 18 番地 丸藤ビル 201 号

TEL: 03-3358-9806 FAX: 03-3358-9780

e-mail: office@ifmga.com

令和 2 年 5 月 23 日

新型コロナウイルス感染症対策のための業務再開ガイドライン Vol. 5 一段階的ガイド業務再開のロードマップ

公益社団法人日本山岳ガイド協会
特別委員会コロナ対策プロジェクトチーム

この度、5月15日に発令された39県緊急事態宣言解除を受け、ガイド協会のプロジェクトチームでは、医療班のバックアップのもと、段階的ガイド業務再開のロードマップを作成いたしました。今後は速やかにこのロードマップを実施要領として行動指針を作成し、共有させていただきます。

会員のみなさまには、ロードマップ及び行動指針をご参照いただき、感染拡大防止策を十分にとって業務を段階的に再開してください。登山を愛する方々の健康増進のサポートなど、我々ガイドが行える活動を通じ、社会貢献及び登山業界の早期回復に向けて共に歩んでいきましょう。

緊急事態宣言解除後の段階的ガイド業務再開のロードマップ

項目		STEP 1 (厳戒体制)	STEP 2 (限定解除)	STEP 3 (解除拡大)	STEP 4 (注意継続)
STEP の 判断 要因	行政	緊急事態宣言発令中	緊急事態宣言解除		新規発症の途絶、治療法の確立、ワクチンの普及などに伴う社会活動の正常化
		特定警戒都道府県の指定	特定警戒都道府県の指定解除		
		自治体からの移動や活動に関する制限要請 (*1)	自治体からの移動や活動に関する制限要請		
	日常生活の行動様式	STAY HOME	新しい生活様式を取り入れた日常生活に慣れるまでの移行期間	新しい生活様式を取り入れた日常生活	アフターコロナの生活様式
	救助機関の状況	制限あり (*2)	制限あり (*2)	概ね正常 (*2)	平時の活動
医療機関の状況	制限あり (*3)	一部受入制限あり (*3)	概ね正常 (*2)	平時の診療体制	

業務 内容	クライアント	居住地	居住地や活動山域の自治体の要請に則る	居住地や活動山域の自治体の要請に則る	制限なし	
		人数		行程を通して密を避けられること。ガイドレシオの50%以下を推奨	活動範囲によるレシオをSTEP 2で検討し策定	通常のガイド規定
		構成		居住地やリスク因子に加え、体力や技術面も加味して判断		
		リスク因子		感染ハイリスク (*4) のクライアントの参加自粛		
	行動エリア		国と地方自治体の要請に則る	制限なし		
	移動 (交通機関)	全てのガイド業務の自粛	自家用車使用・現地集合解散。乗り合いや公共交通機関利用時は感染防止対策 (*5)			
	ルート・山域設定条件		中級者向け一般登山道。行動6時間程度まで (*6) クライミングにおいてはシングルピッチのトップロープを推奨 共にセルフレスキューが可能なこと 慎重に判断 (*7)	STEP 2で抽出された課題や問題点を検討し、エリアやリスクなどの面で業務を拡大。詳細は随時更新	平時の対応	
	宿泊	山小屋	慎重に判断、家族以外は一人用テント推奨 (*7)			
		テント泊	個室利用推奨 (家族は同部屋利用可) (*7)			
	感染対策のための行動規範	行動指針 (*8) の習熟	行動指針の習熟と実践	行動指針の実践と普及	アフターコロナの新しい行動規範	

STEP 移行の判断基準

STEP 1 からSTEP 2	緊急事態宣言の解除、および、特定警戒都道府県指定の解除をもって移行 (ただし、緊急事態宣言発令中であっても都道府県内の一部の地域のみ流行中で、他の地域での経済活動や移動制限がない場合は各都道府県からの通達を参照してSTEPを移行する)
STEP 2 からSTEP 3	1. Withコロナのガイド指針の習熟・実践 2. 救助・医療体制が正常に機能 3. 登山・交通インフラの体制整備 (移動制限の解除、山小屋のオープンなど) 左記が全て揃った時に移行
STEP 3 からSTEP 4	新規発症の途絶、治療法の確立、ワクチンの普及などに伴う社会活動の正常化

注釈

※1 自治体からの移動や活動に関する制限要請	緊急事態宣言や特定警戒都道府県指定の有無に限らず、居住地・主要山域の都道府県からの移動制限の可能性があるため、各自が自治体HPから情報収集を行うように努める
※2 救助機関の状況	防災ヘリ、県警ヘリなどの対応について : 感染が危惧される環境下で活動に制限が生じている可能性があるため、主要山域を中心に情報収集を行い、協会員に広報するよう努めます。
※3 医療機関の状況	各地域の救急医療体制の状況について : 新型コロナ対応に伴い診療体制に制限が生じている可能性があるため、主要山域近隣を中心に情報収集を行い、協会員に広報するよう努めます。
※4 感染ハイリスク	65歳以上、または、慢性呼吸器疾患、中等度～重症の気管支喘息、重篤な心疾患、免疫不全患者 (免疫不全の状態を引き起こす原因としてがんの治療、喫煙、骨髄移植、臓器移植、HIV感染症、ステロイドやその他の免疫抑制薬の長期使用など)、重度の肥満 (BMI40以上)、糖尿病、透析・慢性腎疾患、肝疾患
※5 自動車乗合、公共交通機関など利用時の注意点	換気に配慮してマスクを着用する、ドアなどのハイタッチサーフェイスを触った手で顔や食品に触れない (手指衛生の徹底)、混雑を避ける
※6 ルート・山域設定条件	自然ガイド・登山ガイドにおけるガイド対顧客標準人数比率に係る規定 中級者登山道の範囲 余裕を持った行動時間に配慮
※7 山小屋・テント泊	テント泊も含めて平時よりも定員を制限して営業するところもありますので、必ず事前の確認や予約をお願いします。また、制限下であっても予定外の緊急避難的な受入により、3密回避が困難になりかねない環境であることを理解してご利用ください。
※8 行動指針	Withコロナの責任あるガイディングのための行動指針